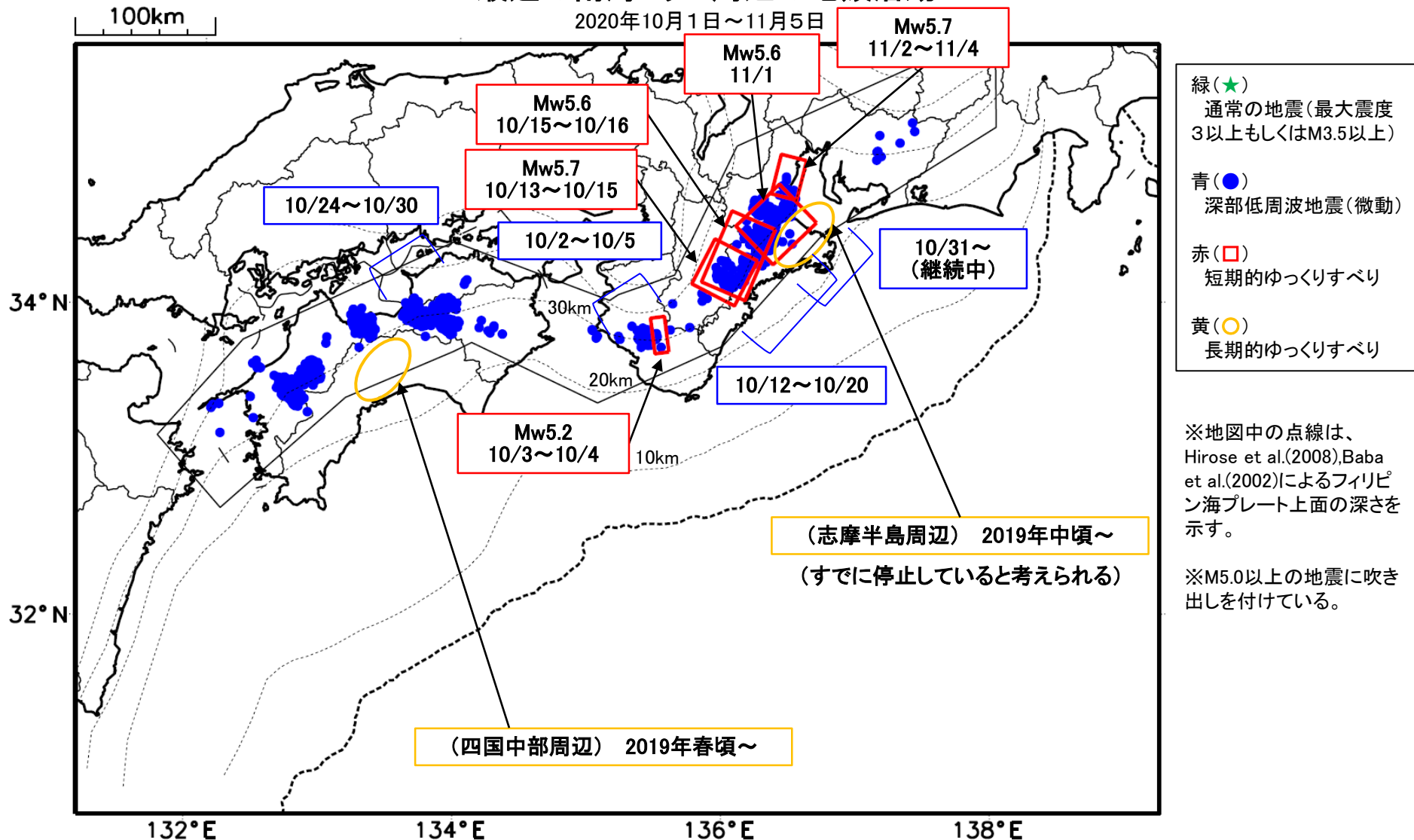


最近の南海トラフ周辺の地殻活動

2020年10月1日～11月5日



通常の地震(最大震度3以上もしくはM3.5以上).....気象庁の解析結果による。

深部低周波地震(微動).....(震源データ)気象庁の解析結果による。(活動期間)気象庁及び防災科学技術研究所の解析結果による。

短期的ゆっくりすべり.....【紀伊半島北部、紀伊半島西部】産業技術総合研究所の解析結果による。

長期的ゆっくりすべり.....【四国中部周辺、志摩半島周辺】国土地理院の解析結果を元におおよその場所を表示している。

令和2年10月1日～令和2年11月5日の主な地震活動

○南海トラフ巨大地震の想定震源域およびその周辺の地震活動：

【最大震度3以上を観測した地震もしくはM3.5以上の地震及びその他の主な地震】

特に目立った活動はなかった。

※震源の深さは、精度がやや劣るものは表記していない。

※太平洋プレートの沈み込みに伴う震源が深い地震は除く。

○深部低周波地震（微動）活動期間

四国	紀伊半島	東海
■四国東部 9月30日～10月2日 10月5日 10月7日～10日 10月19日～21日 10月24日～30日 . . . (3)	■紀伊半島北部 10月8日～10日 <u>10月12日～20日</u> . . . (2) 10月27日～28日 <u>11月1日～（継続中）^{注1）}</u> . . . (4)	10月5日 10月28日
■四国中部 10月10日～12日 10月14日 11月4日	■紀伊半島中部 10月16日～17日	
■四国西部 10月7日 10月9日～14日 10月17日～19日 10月22日 10月26日～28日 10月30日～11月2日	■紀伊半島西部 <u>10月2日～5日</u> . . . (1) 10月16日～17日	

※深部低周波地震（微動）活動は、気象庁一元化震源を用い、地域ごとの一連の活動（継続日数2日以上または活動日数1日の場合で複数個検知したもの）について、活動した場所ごとに記載している。

※ひずみ変化と同期して観測された深部低周波地震（微動）活動を赤字で示す。

※上の表中（1）～（4）を付した活動は、今期間、主な深部低周波地震（微動）活動として取り上げたもの。

注1）防災科学技術研究所による解析では、10月31日頃から微動活動が見られている。

気象庁作成